



島バナナ探検隊 in沖永良部島 活動紹介

「鹿児島の近現代」教育研究センター
地域シンポジウム“沖永良部の近現代”
2023年3月27日（月）@和泊町役場結いホール
鹿児島大学法文学部法経社会学科 経済コース澤田ゼミ

目的

民間栽培島バナナという地域資源の資源量の把握

沖永良部島のバナナは出荷用作物ではないことから、栽培面積や栽培数、収穫量が把握できていない。

日本で食べられるバナナの
99.99%は輸入品。国産は希少。

令和元年果樹をめぐる情勢
令和元年産特産課樹生産動態等調査（ともに農林水産省）

	平成29年度	割合
輸入	987,000	99.99%
国産	117.1	0.012%

問題意識

沖永良部：300～1,000円/kg

価格差

奄美・沖縄：1,000～2000円/kg

希少で貴重なはずの国産バナナが、なぜ沖永良部ではお金にならないのか？

仮説

需給バランスの問題により値崩れが生じているのではないか
需要→沖永良部では小さい？ 供給→沖永良部で多い？

需要サイド



“国産バナナ”をありがたがるのは、バナナがその辺に生えていること自体が珍しいと感じる観光客であろうと思われる。

	1日あたり入域客数	平成30年度入域客数	出所
沖縄県	27,409人	約1000万人	平成30年度入域観光客数概況（沖縄県）
奄美大島	1,229人	約45万人	鹿児島県観光統計
沖永良部島	165人	約6万人	鹿児島県観光統計

観光客が少ないために需要が少ない可能性がある。

検証

供給サイド

アンケート調査：2022年7～8月 対象：内城小学校区でバナナをたくさん栽培している方々
14件の回答結果：420本のバナナ ⇒ 内城小学校区は303世帯
一部の回答だけで世帯数を超えるバナナが存在することが明らかに

全体ではどれくらいバナナがあるのか数えてみよう。

イベント企画

歩こう！探そう！
島バナナ調査隊 2023

3.26 日 13:30～17:00 内城小学校

スケジュール

- 13:20 内城小学校集合
- 13:30～ バナナ勉強会
- 14:30～ 歩いて GIS 体験
- 16:00～ データ集計・成果発表
- 17:00 解散

持ち物

- 水筒 □ タオル □ 筆記用具

帰ってきたら
島バナナマスター！

＜運営＞ 鹿児島大学 澤田ゼミ
＜お問合せ先＞ 和泊町役場 企画課 永野 TEL:0997-84-3511

校区内の通学路を歩きながらバナナの本数を数え、年間にどれくらいのバナナの収穫がありそうかを試算するための地域情報データベースを作成する企画。

（株）地域科学研究所の協力を得てGPSで得た位置情報とともにタブレット端末を用いてGIS（地理情報システム）にバナナデータをマッピングする。

鹿児島大学：企画・運営
内城小学校：場所提供・参加呼びかけ協力
地域科学研究所：GIS周り試作・プレテスト
和泊町役場：備品協力・呼びかけ協力など
長崎大学佐藤准教授：講師・アドバイザー

今後の展望

バナナマップ作成プロジェクトを、「総合的な探求の時間」等で活用できる教育パッケージにしたい。

ゆくゆくは島内の各小中学校に広げられれば、島全体のバナナの数を継続的に記録できる。さらに、パパイアやグアバなど、ほかの果実にも転用可能。

郷土教育・DX教育・産官学連携の教材として、ぜひ導入をご検討ください。



島バナナ探検隊 @内城小学校 調査結果報告

「鹿児島の近現代」教育研究センター
地域シンポジウム“沖永良部の近現代”
2023年3月27日（月）@和泊町役場結いホール
鹿児島大学法文学部法経社会学科 経済コース澤田ゼミ

GISを活用した 内城小学校区バナナマップ

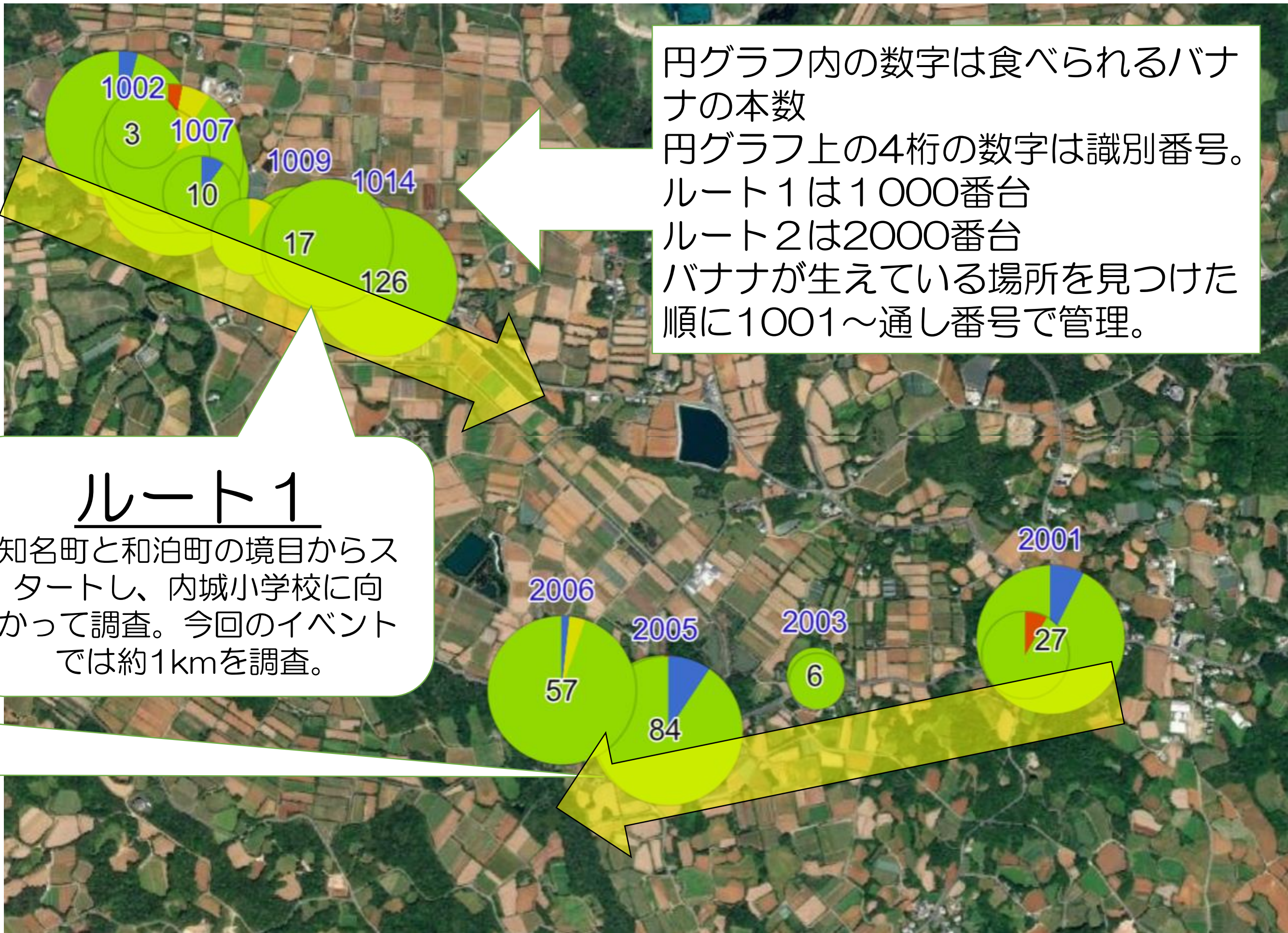
調査日時：2023年3月26日（日）
調査場所：内城小学校区（今回調査できたのは合計2.6km）
調査方法：地図上の2ルート歩きながらバナナの本数を調べる
調査項目：バナナの品種ごとの本数、食べられるバナナの高さ別の本数と成長段階別の本数
協力：（株）地域科学研究所

ルート2

内城小学校からスタートし、後蘭・谷山方面へ向かって調査。今回のイベントでは約1.6kmを調査。

ルート1

知名町と和泊町の境目からスタートし、内城小学校に向かって調査。今回のイベントでは約1kmを調査。



今回あるいた距離合計	約2.6km
今回見つかったバナナの数	682本
100mあたりのバナナの数	約26本
日本の平均的な電柱の間隔	約30～50m
100mあたりの平均的な電柱の数	約3本

内城小学校区の通学路では、日本の平均的な道路で見かける電信柱の8～9倍くらいの数のバナナに出会うことができる。

今回見つかったバナナの数	682本
内城校区の推定人口	約600人
今回のルート上の民家数	約32世帯
1世帯あたりのバナナの本数	21本
和泊町の世帯数	3295
和泊町のバナナ本数（推計値）	70,225本
沖永良部島の世帯数	6,305世帯
沖永良部島のバナナ本数（推計値）	134,375本
沖永良部全体の年間予想収穫量	941t
沖永良部全体の年間予想消費量	113t
予想収穫量÷予想消費量	8倍

限られた範囲の調査に関わらず内城校区の人口よりも多いバナナが今回の調査で見つかった。

今回歩いた範囲の民家数の21倍の本数のバナナが見つかった。

内城校区と同じくらいのバナナが島全体にあると仮定すると、1,000t近くのバナナが毎年収穫できる可能性がある。
沖永良部の人たちが、平均的な日本人の8倍たくさんバナナを食べるならば、それらをすべて消費することが可能となる。

今後の課題：調査範囲を拡げることで、予想収穫量の精度を高めていく。

沖永良部島バナナを 全国へ新ビジネスモデル

鹿児島大学法文学部経済コース 宮田 陸



国産バナナと島バナナ

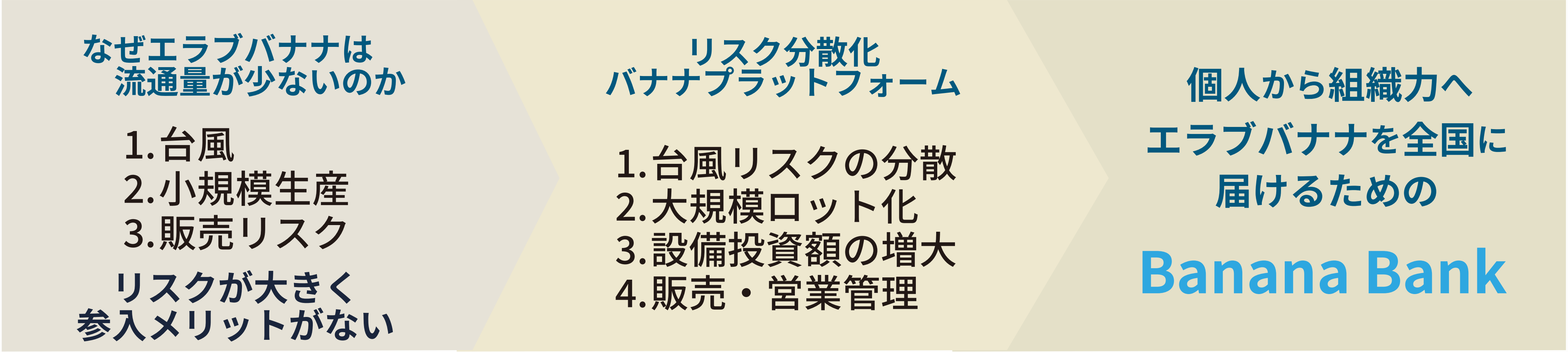


それでも盛り上がる 国産バナナ
鹿児島県「神バナナ」 ¥5,400/kg
宮崎県「NEXT716」 ¥4,320/kg
千葉県「きみさらず」 ¥7,200/kg
岡山県「瀬戸内バナナ」 ¥6,000/kg

なぜそんなに高いの？ 国産バナナ
特徴 ハウス栽培・完全無農薬 特殊な製法
▼ Strength Point
安心安全・皮まで食べられる 芳醇な甘さと香り
Week Point 値段

エラブのバナナの強み
味で感じる違いがある 8 品種もある。 酸味が絶妙なアクセントに
自然で育つ 亜熱帯気候でハウスが不要
すでに育てられている 参入コストが低い。
エラブバナナは ダイヤの原石

エラブバナナについて考察



バナナバンク



販売戦略

B to B & D to C のビジネスモデルを考える。

家庭の島バナナ 冷凍クラッシュバナナ 冷凍バナナ 酒用	農園の島バナナ 生のバナナ 用途 フレッシュジュース 焼きバナナ
-----------------------------------	--

卸先：飲食店・CAFE・BAR

卸先をハブとして、一般消費者向け EC サイトも構築

バナナから作るお酒の話

販売戦略の 1 つとして、バナナからお酒を作る。

バナナを使うお酒の選択肢 果実酒・スパイスラム・スピリッツ・リキュール
--

指宿で国産ラムを生産する「大山甚七商店」と
リキュール生産に向けて協議中

沖永良部の酒造会社様と
世界市場で戦える酒製造を目指しています